
NetFiler

NF-R104GA4W

NAS システム復旧マニュアル



コアマイクロシステムズ株式会社
日本ストレージアプライアンス事業部

Revision1.0

はじめに

このマニュアルでご説明するシステム復旧は HDD の内容を工場出荷時の状態に復旧するものです。この作業により HDD は初期化され内部のデータは全て消去されます。

【ご注意】

本手順によりシステムの復旧を行う際にはマイクロソフト社へのライセンス認証手続きが必要となります。本体に貼ってありますプロダクトキーは本製品の出荷時に一度認証を済ませておりますのでインターネット経由でのライセンス認証が完了しない場合があります。その場合は、画面に表示される説明に従って認証手続きを行ってください。

本マニュアルの内容は予告無く変更いたします。

1. 準備機材

1	USB DVD ドライブ (BIOS 起動可能なもの)
2	D-SUB15PIN 装備の VGA モニター (800 × 600 対応)
3	PS/2 マウス
4	PS/2 キーボード

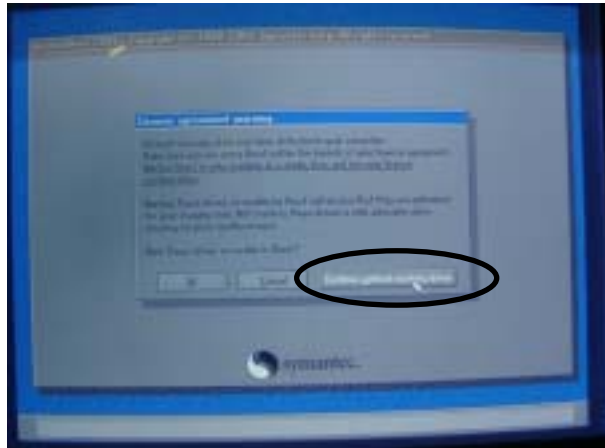
2. NAS システム復旧手順

- ・ NF-R104GA4W 本体に
 - ・ USB DVD ドライブ (フロントパネルの内側、もしくは、背面の USB ポート)
 - ・ モニター
 - ・ PS/2 マウス
 - ・ PS/2 キーボード を接続します。
- ・ DVD ドライブに「リストア DVD」を入れます。
- ・ 本体のドライブベイ、一番左(0番)の位置に1台目のHDDを装着し、本体の電源を入れます。他のドライブベイにはHDDを装着しないで下さい。

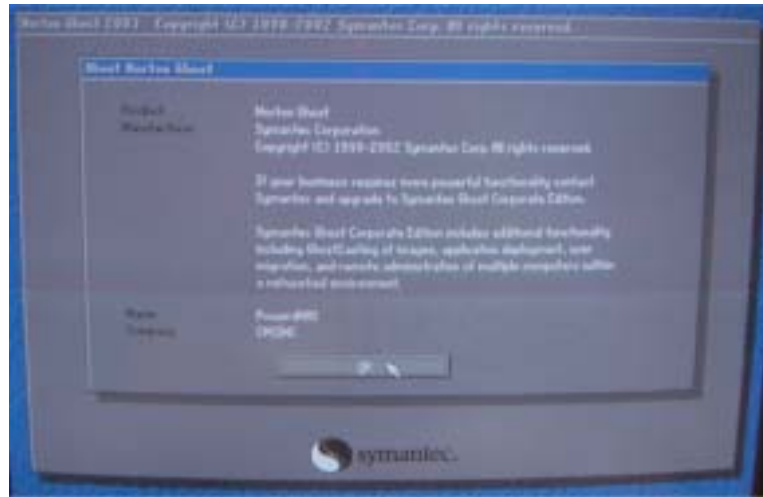


- ・ 電源が入ると DVD ドライブより復旧プログラムが起動します。

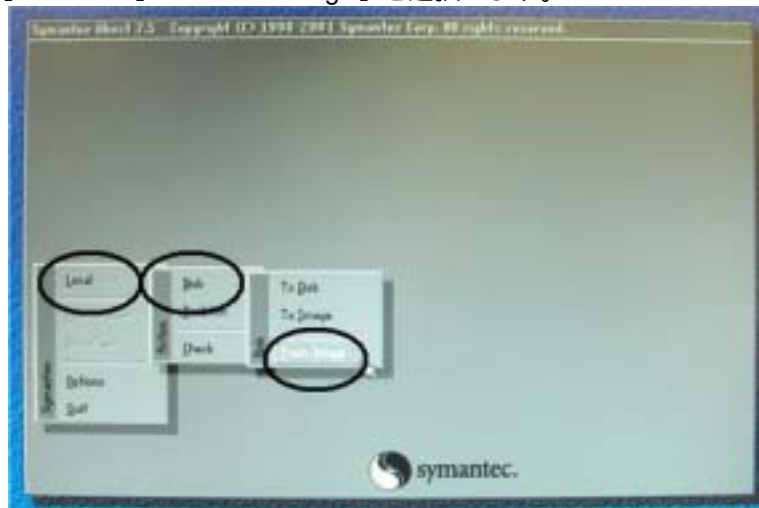
- 以下の画面が表示されたら「Continue without marking drives」を押します。
この画面が表示されない場合は次へお進み下さい。



- この画面が表示されたら「OK」のボタンを押します。



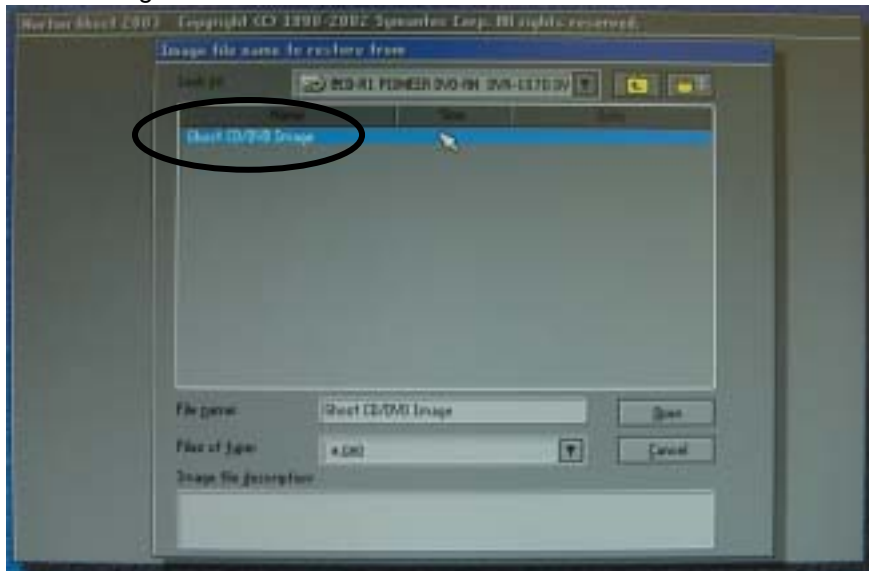
- 次の画面で「Local」 - 「Disk」 - 「From Image」を選択します。



- ・ 「Image file name to restore from」 の画面で接続されているドライブが表示されますので「リストア DVD」のセットされている USB DVD ドライブを選択します。



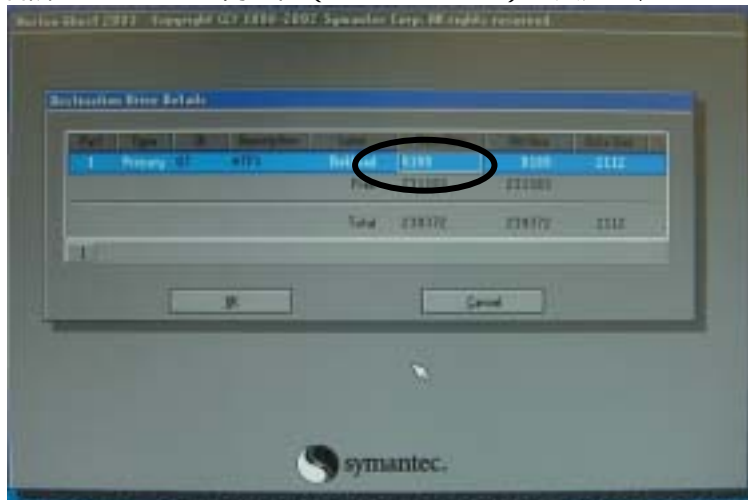
- ・ Ghost CD/DVD Image を選択します。



- ・ リストアするドライブの情報が表示されますので、「OK」を押します。



- ・ 「Destination Drive Details」で「New Size」を選択します。
- ・ サイズに、右隣の Old Size と同じ値（ここでは 8189）を入力し、「OK」を押します。



- ・ 画面のような表示が出たら、「Yes」を押します。



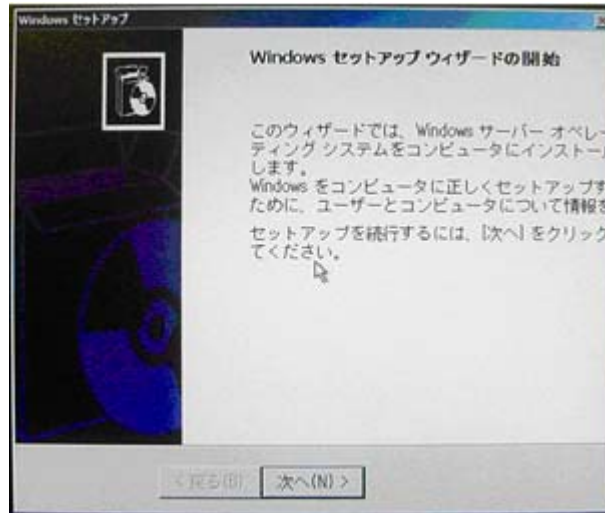
- ・ リストアが始まりますのでしばらく待ちます。（20 数分）（%が上部に表示されます。）



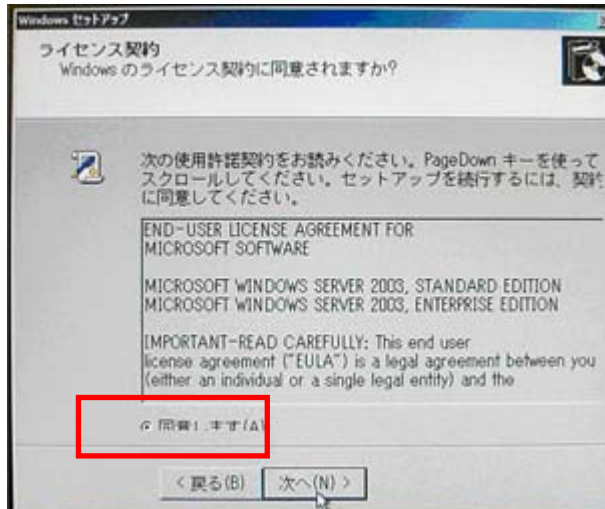
- ・終了すると後、「Clone Completed Successfully」という表示が出ますのでこの状態でフロントのボタンで一旦本体の電源を切り、DVD ドライブを外します。



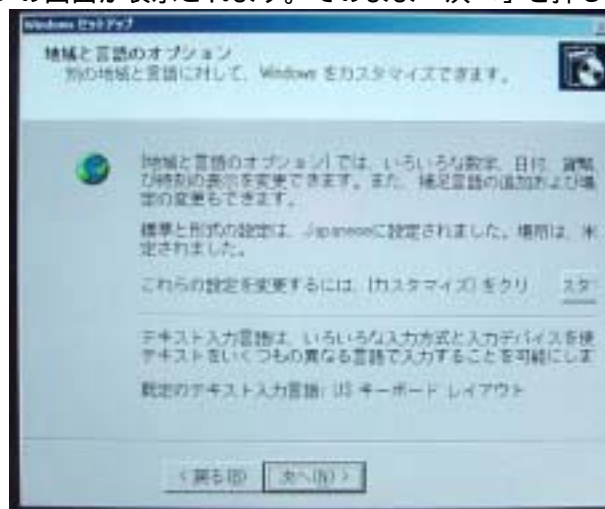
- ・再度本体の電源を入れ起動させます。Windows セットアップウィザードが開始されます
「Windows セットアップ」の画面は Windows の仕様により一部文字が読み難くなっておりますので予めご了承ください。



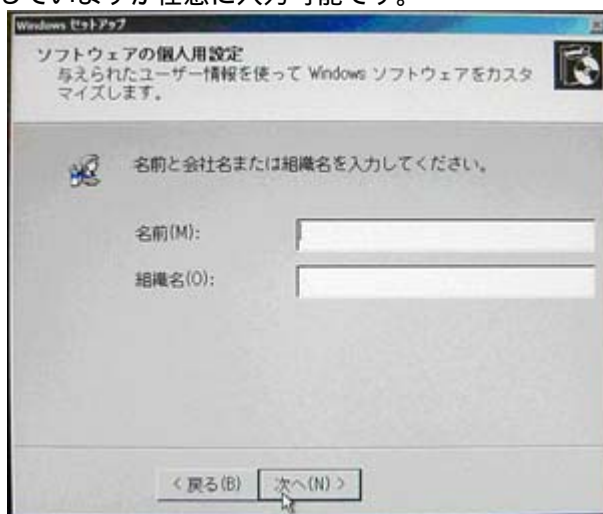
- ・ライセンスが表示されます。「同意します」にチェックを入れ次へを押して下さい。



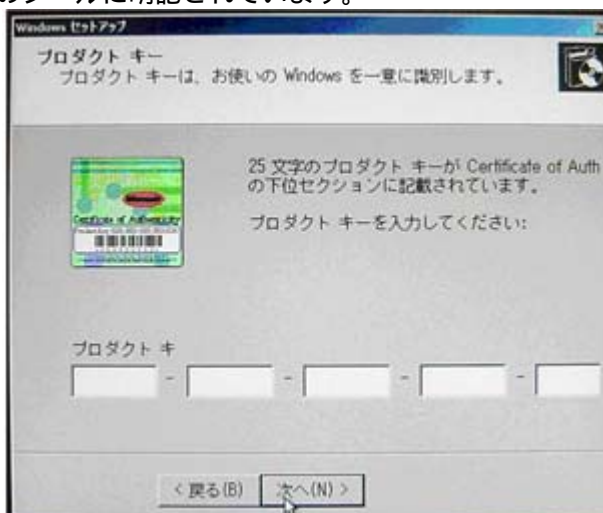
- ・地域と言語のオプションの画面が表示されます。そのまま「次へ」を押して下さい。



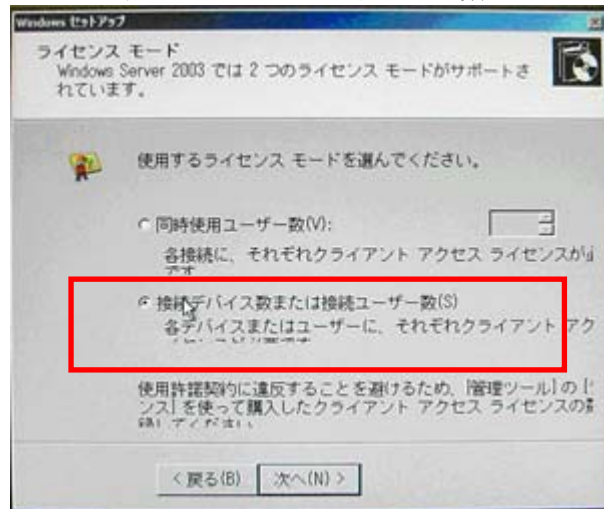
- ・ 使用者の名前（必要に応じて組織名）を入力して下さい。
出荷時には「CMSNAS」としてありますが任意に入力可能です。



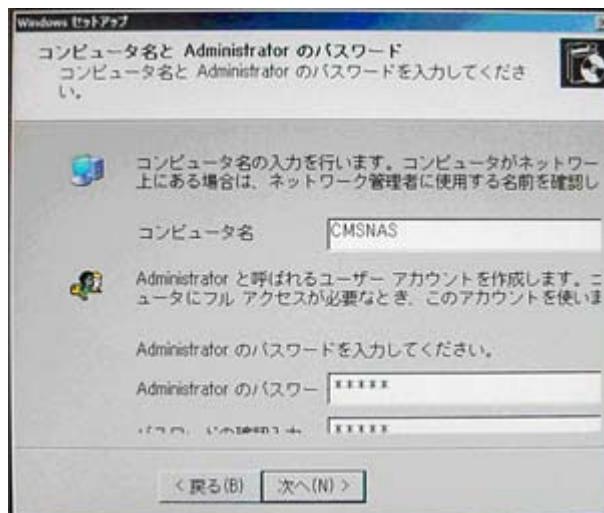
- ・ プロダクトキーを入力して下さい。
NF-R104GA4W 本体の天板のシールに明記されています。



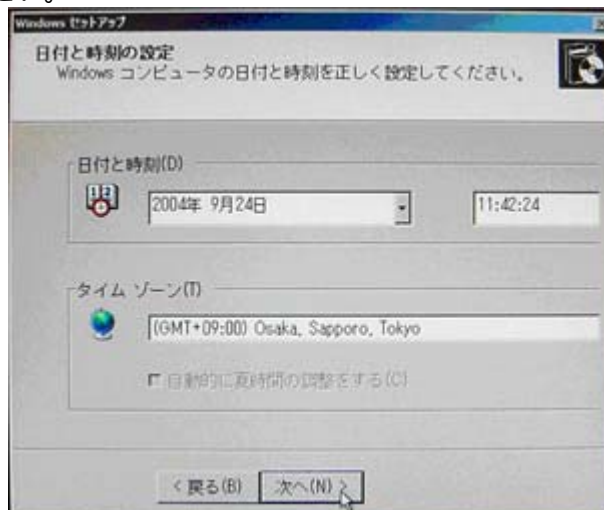
- この製品のライセンスモードは下側の「接続デバイス数または接続ユーザー数」を選択して下さい。本 NAS のライセンスはこのモードのみサポートしていますので上段のモードは選択しないで下さい。



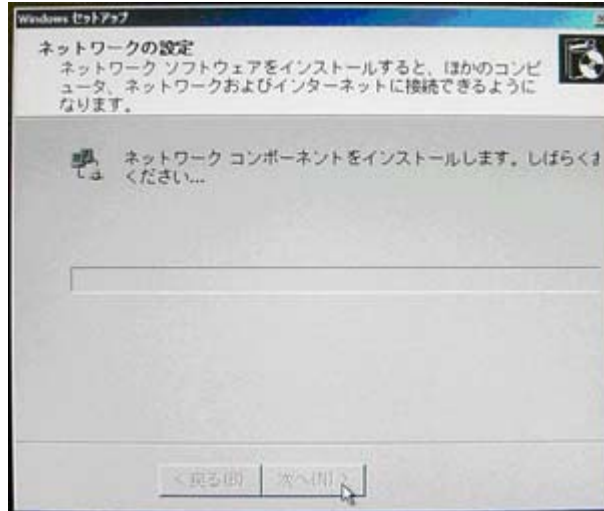
- コンピュータ名およびパスワードを入力します。
コンピュータ名はネットワーク内で表示される NAS の名称です。
出荷時のコンピュータ名は「CMSNAS」、Administrator のパスワードは「admin」です。



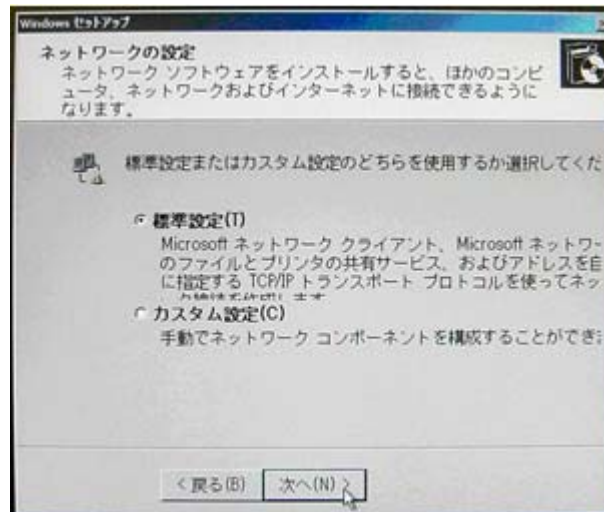
- 日付と時刻の設定をして下さい。



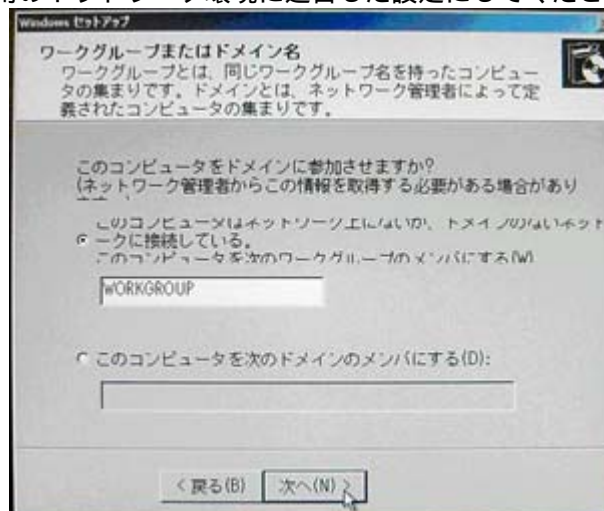
- ・ ネットワークコンポーネントが自動的にインストールされます。



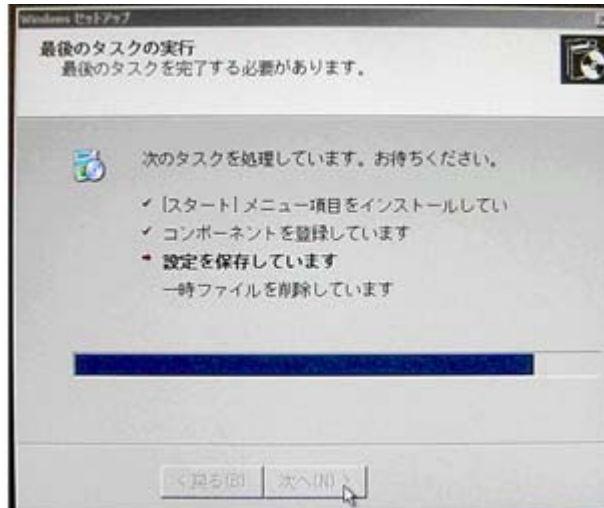
- ・ ネットワークの設定では「標準設定」にチェックが入っています。



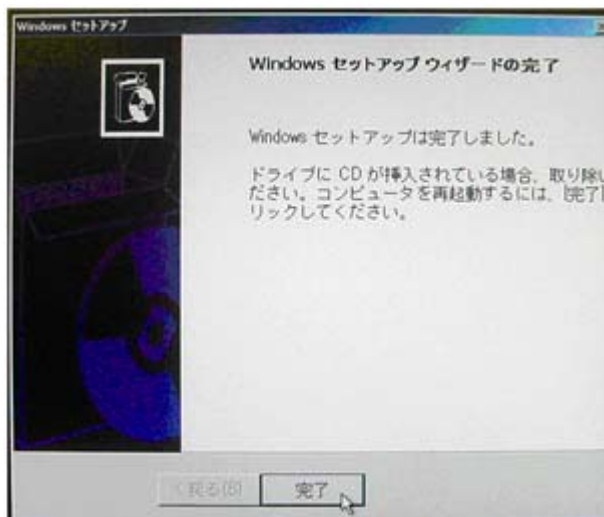
- ・ デフォルトはワークグループ名「WORKGROUP」です
任意に変更可能ですがご使用のネットワーク環境に適合した設定にしてください。



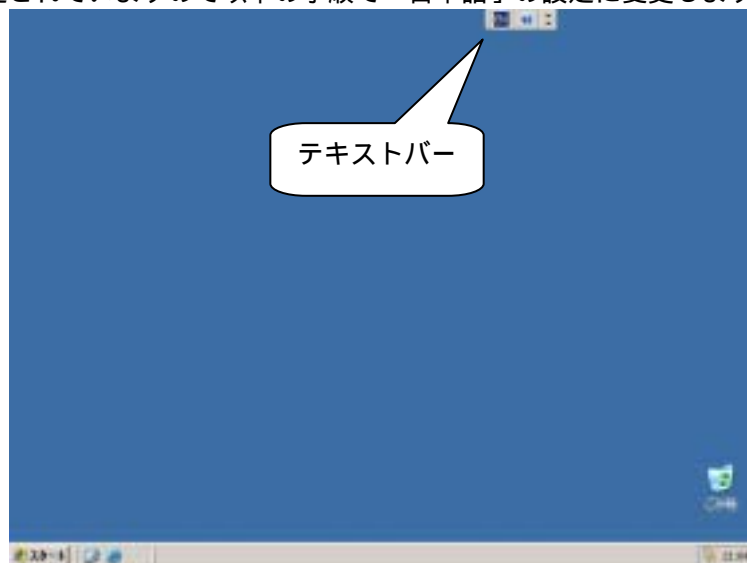
- ・続けて自動的にインストールが実行されます。



- ・これで基本システムのリストアが完了しました。完了を押すと自動的に再起動されます。



- ・再起動後、ログインすると画面右上にテキストバーが表示されます。最初は「英語」に設定されていますので以下の手順で「日本語」の設定に変更します。



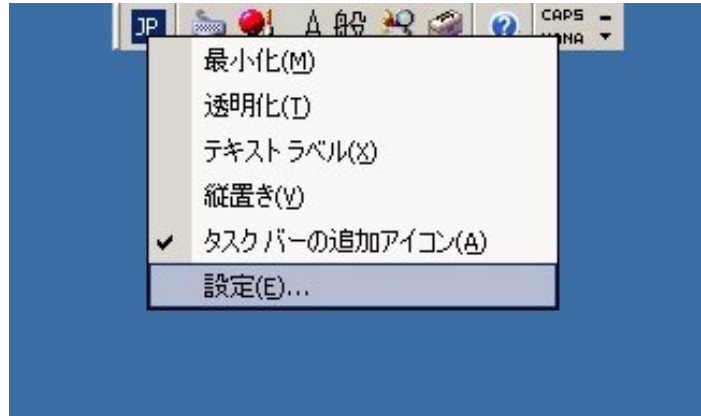
- ・「EN」の文字の上でマウスを左クリックするとメニューが表示されますので「日本語」を選択します。



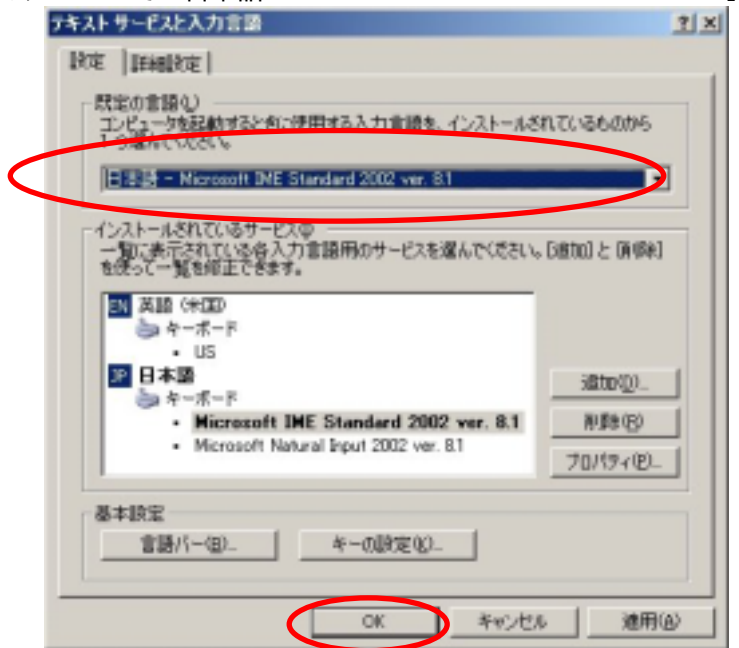
- ・日本語モードに切り替わります



- ・次に「JP」の文字の上でマウスを右クリックするとメニューが表示されますので「設定」を選択します。



- ・「規定の言語」のメニューで「日本語 - MicrosoftIME Standard 2002 Ver.8.1」を選択します。

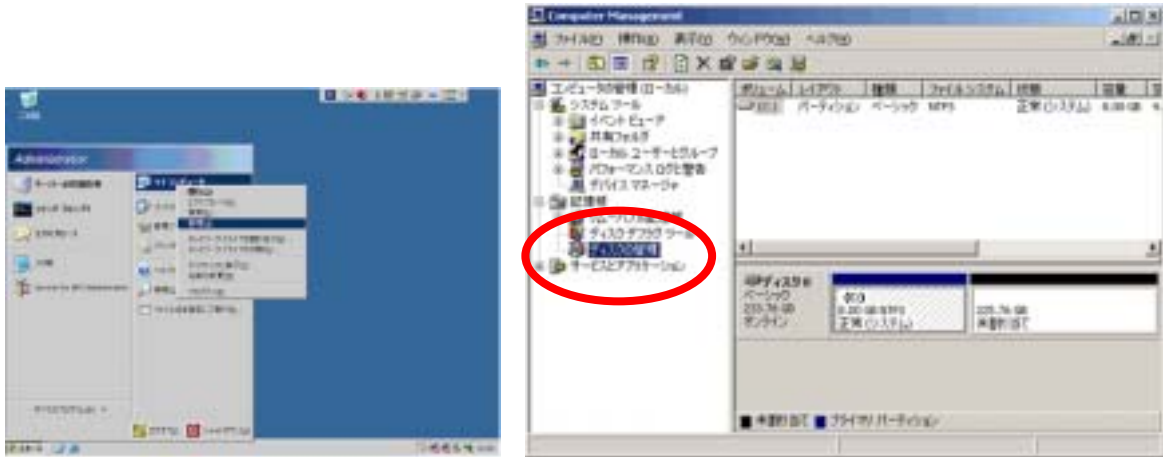


- ・「OK」をクリックして終了です。

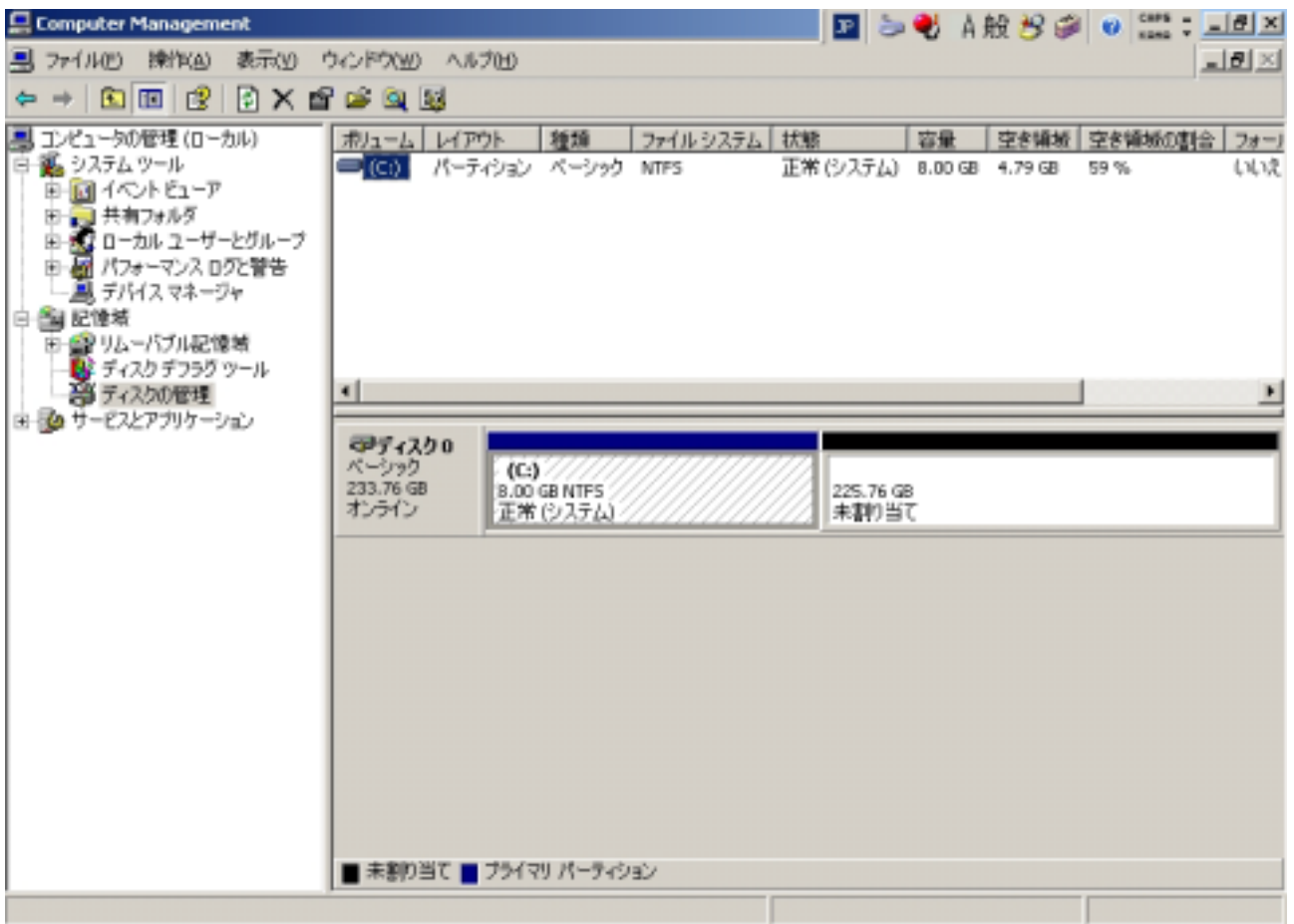
- ・続けてボリュームの作成手順に入ります。

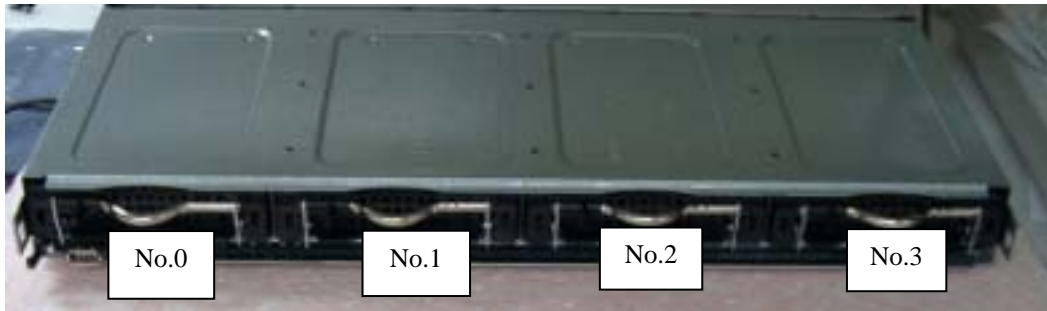
「タスクバー」右下に時刻以外のアイコンが表示されるまで待機します。

- ・「スタート」「管理ツール」「コンピュータの管理」を選択します。
- ・左ツリーから「ディスクの管理」を選択します。



- ・「ディスクの管理」画面です。





- ・電源の入っている状態で No.1 の位置に HDD を装着します。（No.2、3 は未装着）
- ・自動的にディスクが認識され、「ディスク 1」が表示されます。

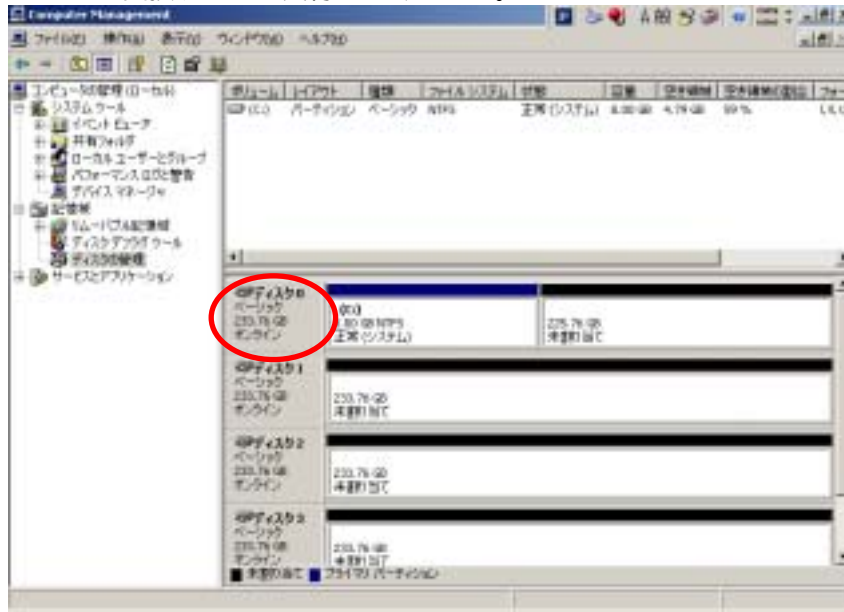


- ・続けて電源の入った状態で No2 の位置に HDD を装着します。
- ・自動的にディスクが認識され、「ディスク 2」が表示されます。

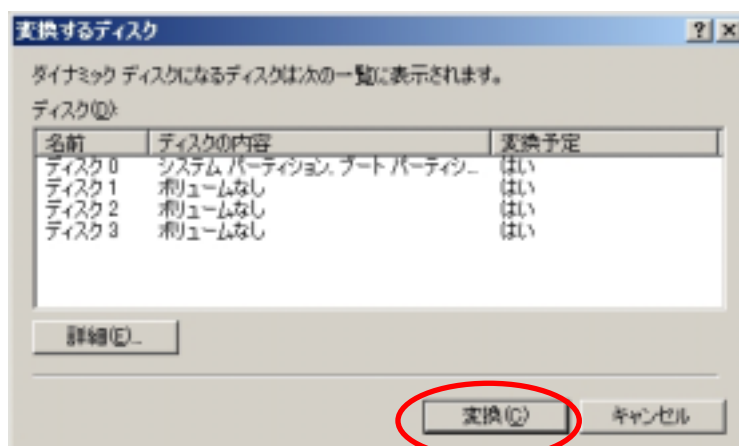
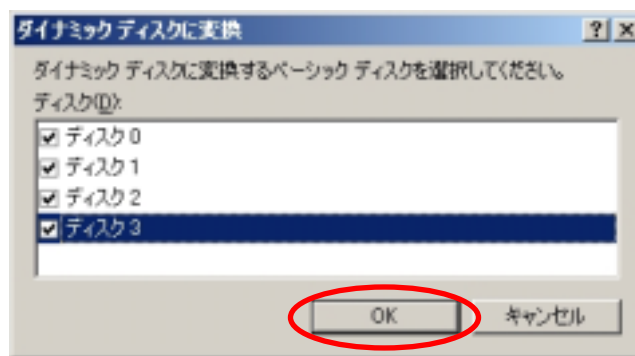


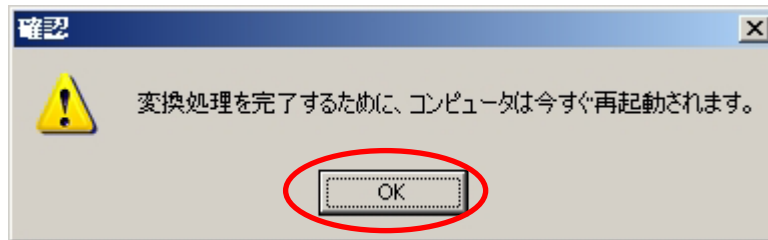
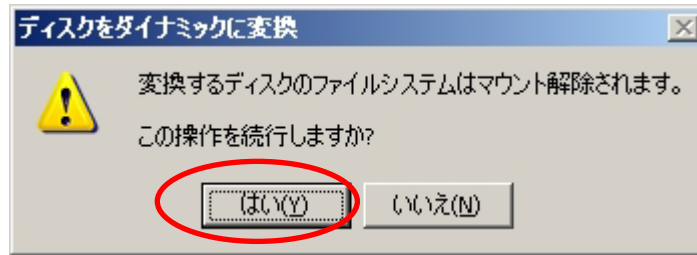
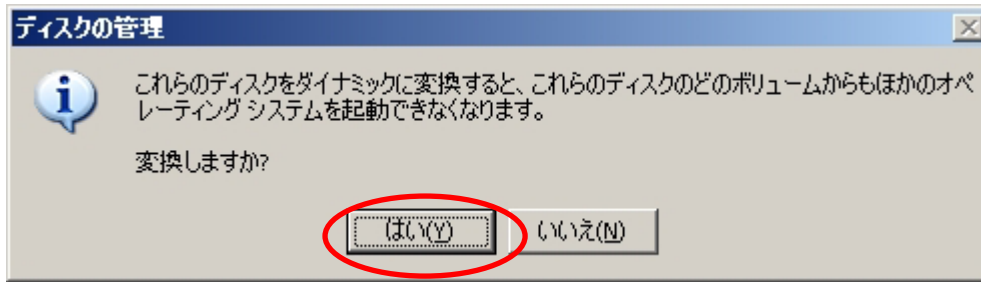
- ・続けて電源の入った状態で No3 の位置に HDD を装着します。
- ・自動的にディスクが認識され、「ディスク 3」が表示されます。
 本体のトレイ位置は向かって左側の HDD から順番にディスク 0 ディスク 3 となるように装着します。

各ディスクがオフラインの状態ではオンラインに設定します。
 また、各ドライブが「ダイナミック」形式として表示された場合はそのディスク名の上でマウスを右クリックして「ベーシックディスクに変換する」を実行してください。

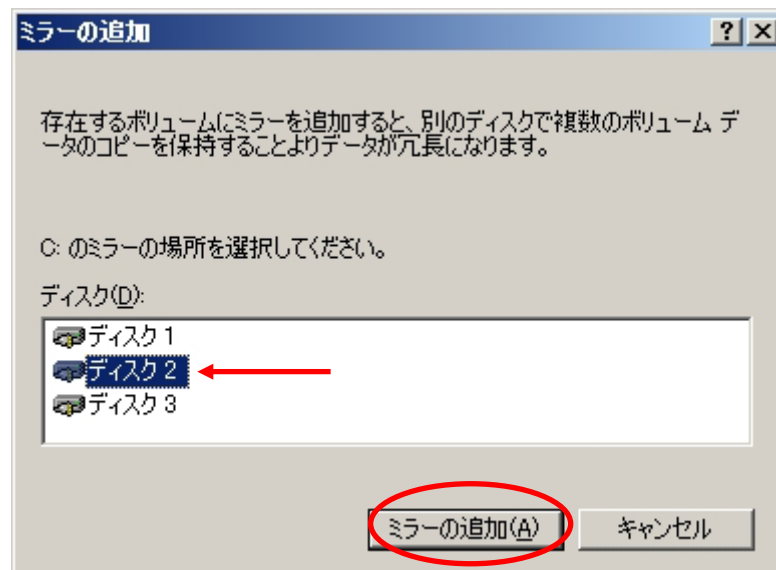


- ・「ディスク 0」の左グレーのところを右クリック、「ダイナミックディスクに変換」を選択します。
- ・下図のように「ディスク 0」～「ディスク 3」すべてにチェックを入れ「OK」をクリックします。



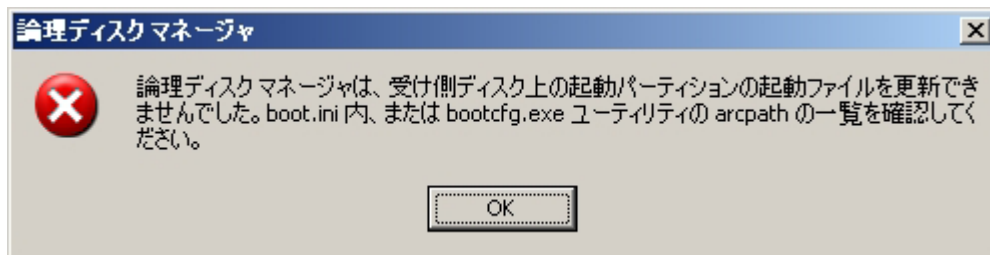


- ・再起動します。
再度、再起動を促すメッセージが出る場合は「OK」をクリックしてそれに従います。
- ・次にパーティションの作成手順に入ります。
- ・「(システムログイン)」 - 「コンピュータの管理」 - 「ディスクの管理」を開きます。
- ・「ディスク 0」の「C:」のボリューム上で右クリック、「ミラーの追加」を選択します。
- ・「ディスク 2」を選択し「ミラーの追加」をクリックします。



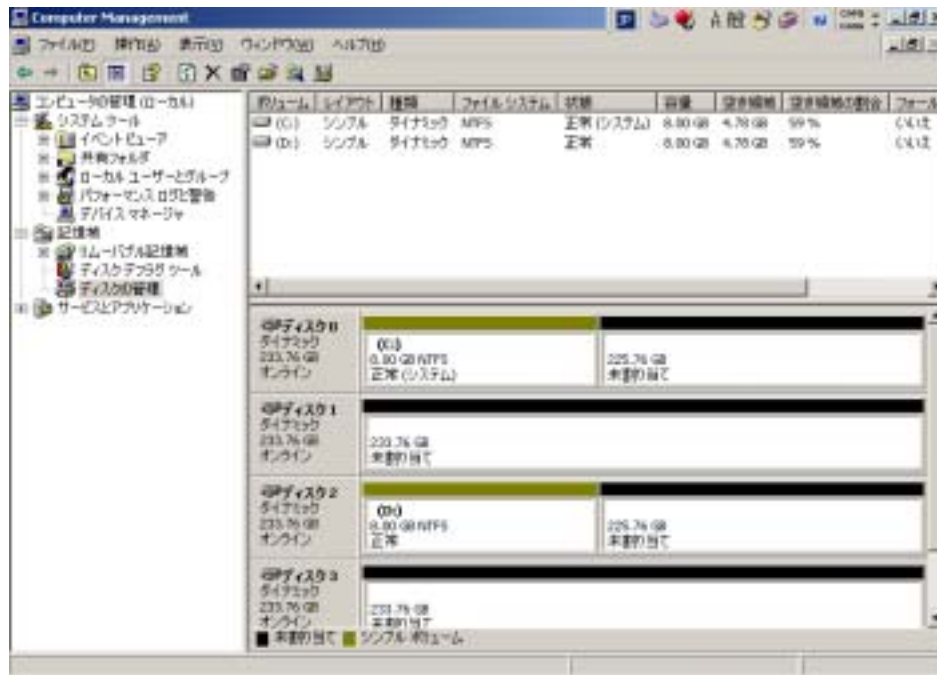
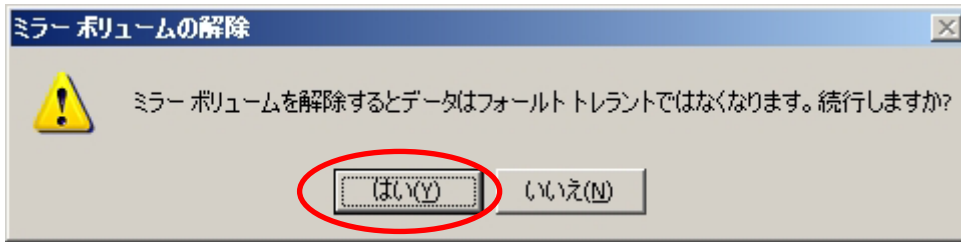


操作中に以下のエラーが出た場合は「OK」で対処して下さい。

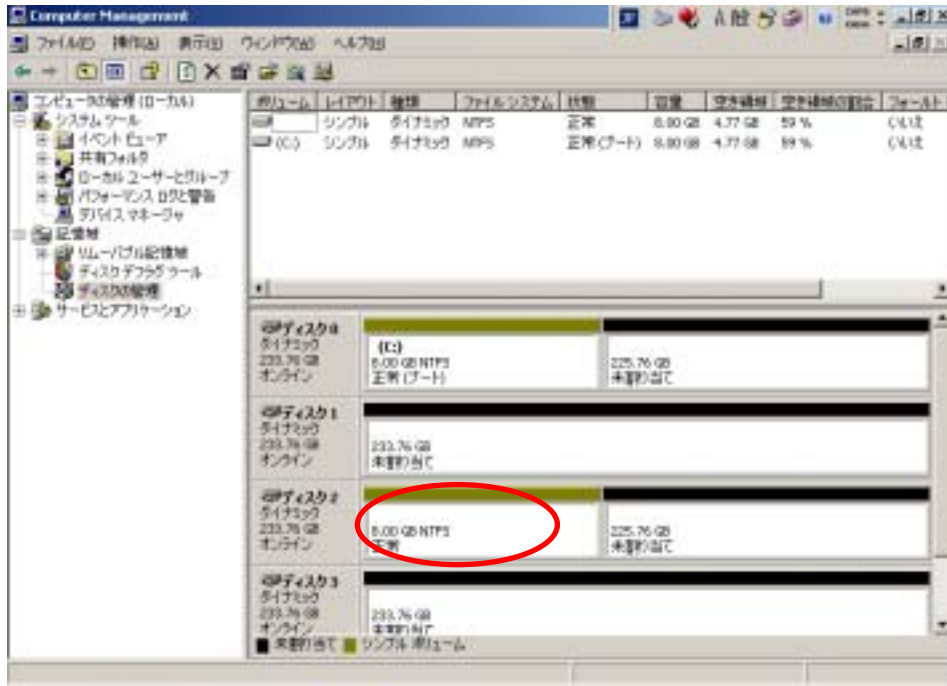


- ・「ディスク2」の「C:」のボリュームを右クリック、「ミラーボリュームの解除」を選択。

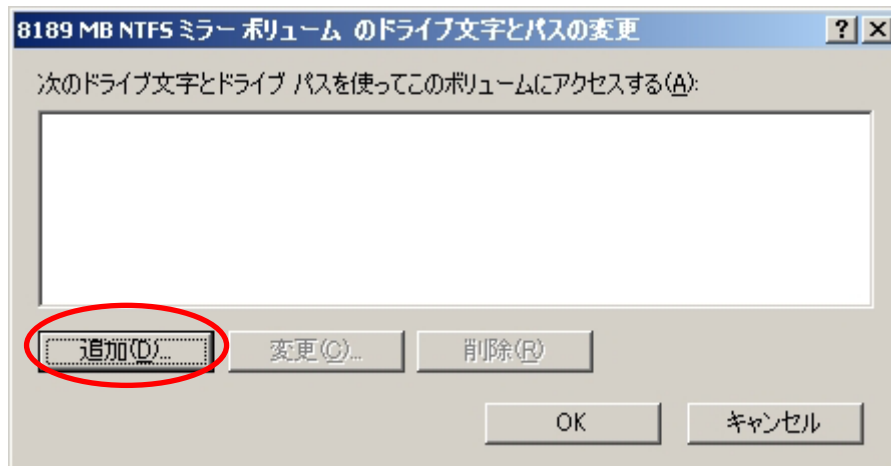




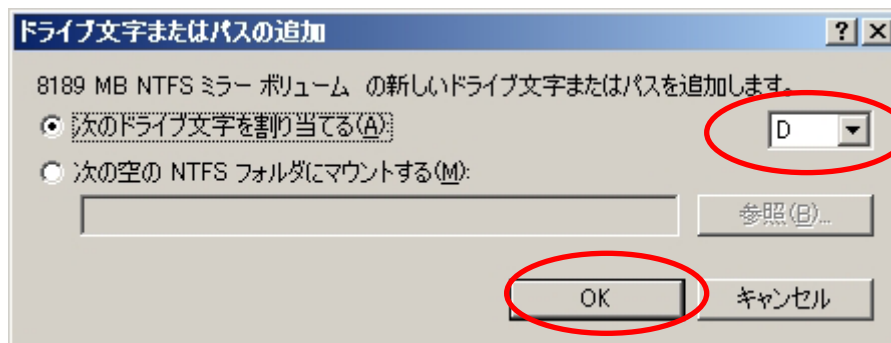
【Dドライブが表示されていない場合の対処方法】



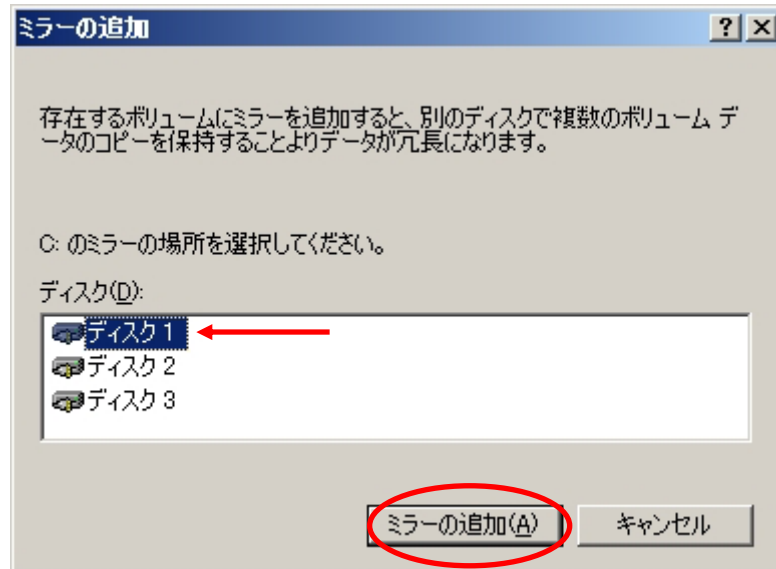
- ・上記画面の「ディスク 2」の緑色のパーティションを右クリックして「ドライブ文字とパスの変更」を選択します。



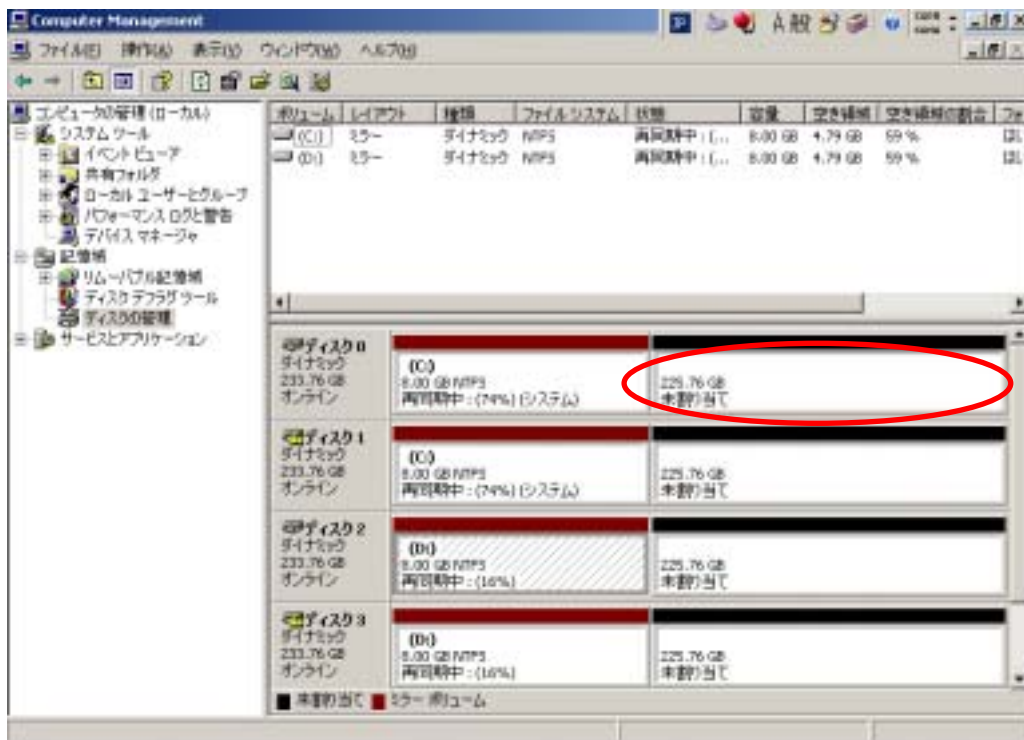
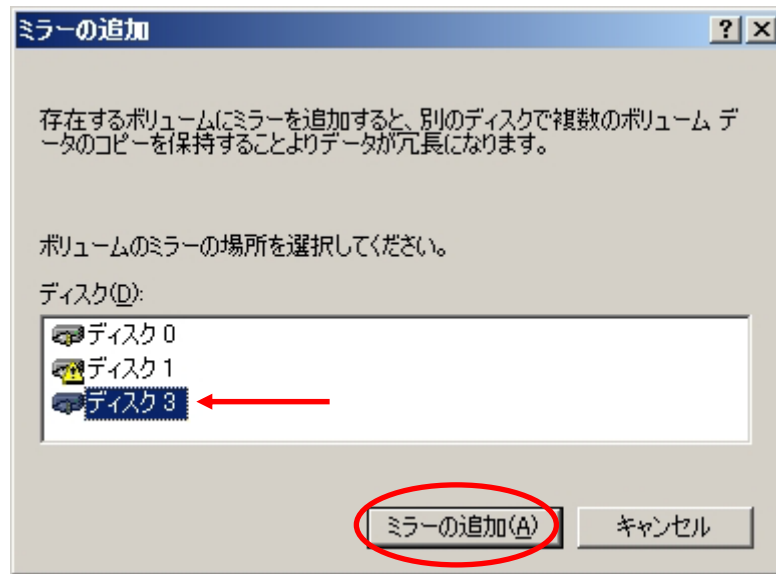
- ・「D」を指定します。



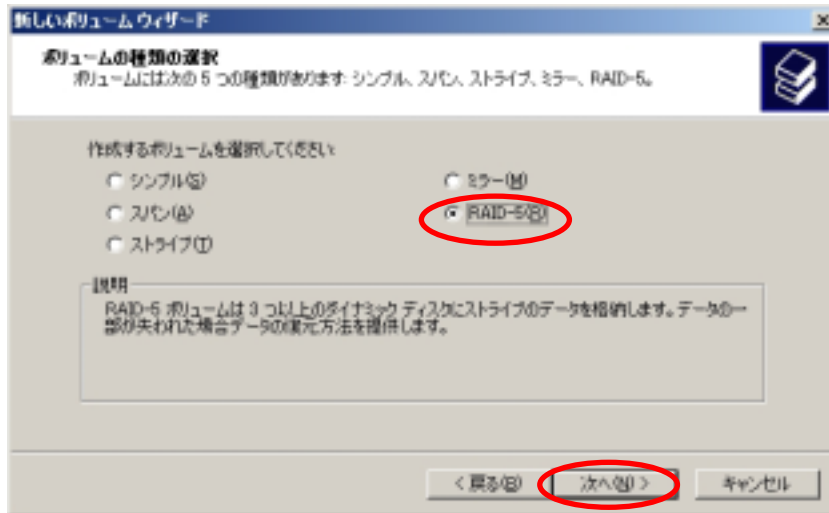
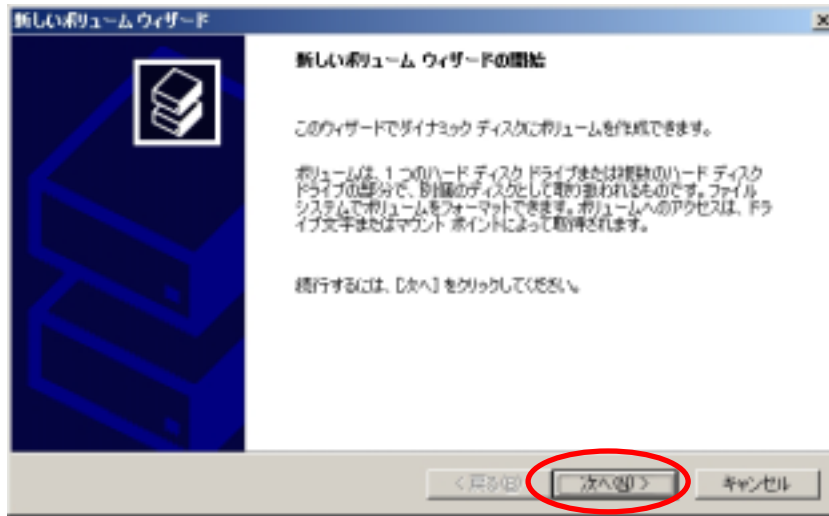
- ・「ディスク 0」の「C:」のボリューム上で右クリック、「ミラーの追加」を選択します。
- ・「ディスク 1」を選択し「ミラーの追加」をクリックします。



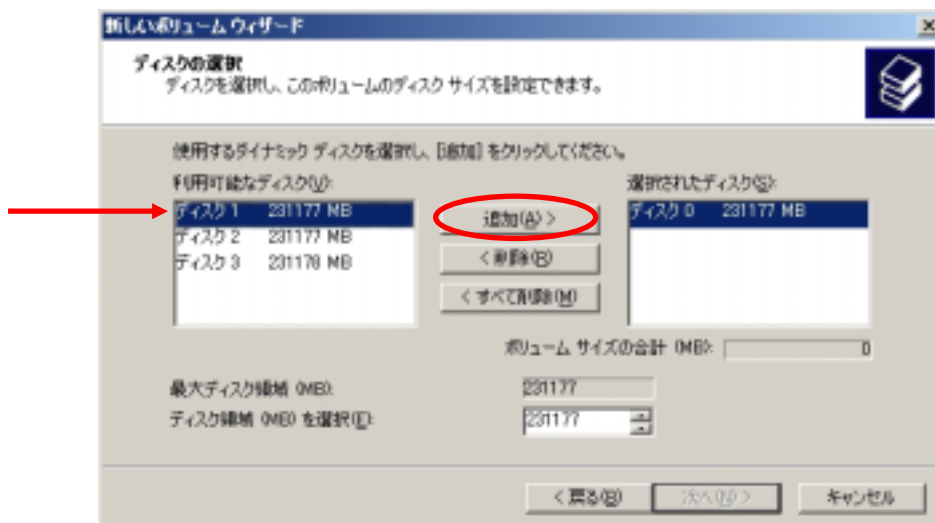
- ・「ディスク 2」の「D:」のボリューム上で右クリック、「ミラーの追加」を選択します。
- ・「ディスク 3」を選択し「ミラーの追加」をクリックします。

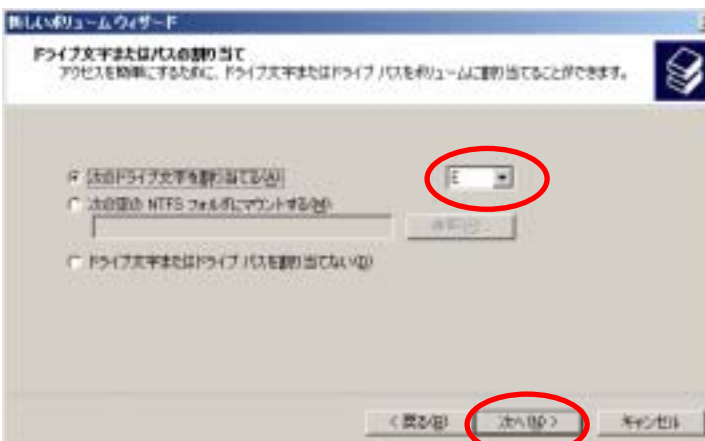
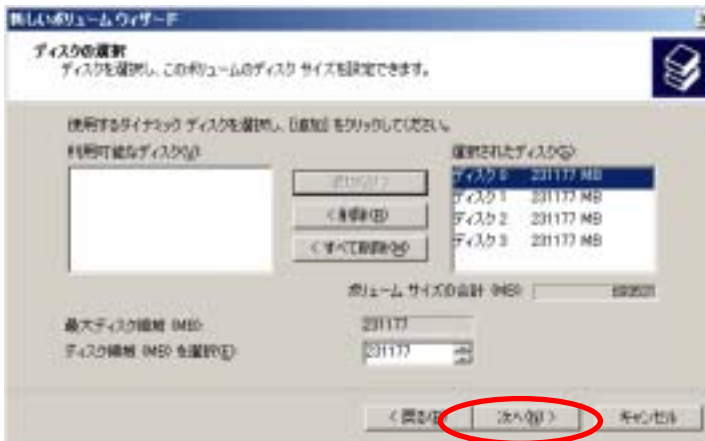
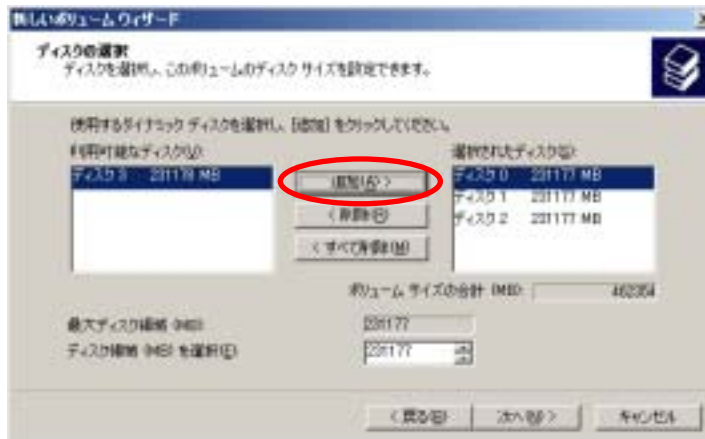
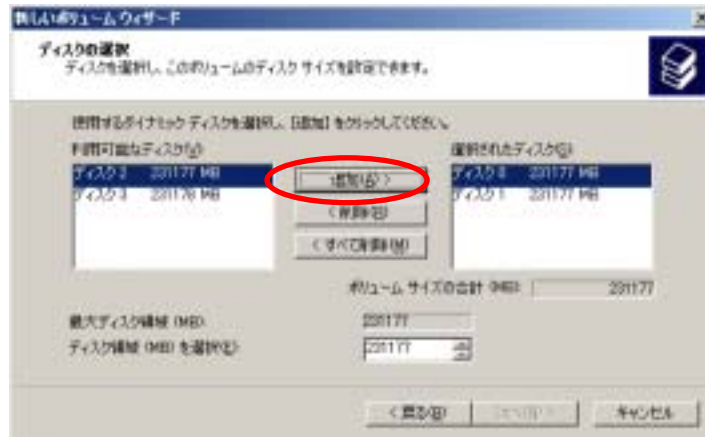


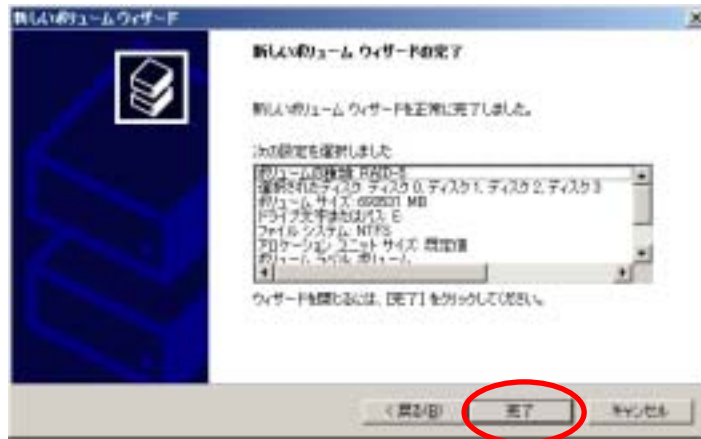
- ・続けて「ディスク 0」の「未割り当て」のボリューム上で右クリック、「新しいボリューム」を選択。
- ・以下のウィザードに従い設定します。



- ・下図の追加ボタンより「ディスク 1～3」をすべて追加します。







- ・フォーマットが開始されますので完了するまで待機します。
HDD の容量によって異なりますがフォーマットの完了まで数時間かかります。

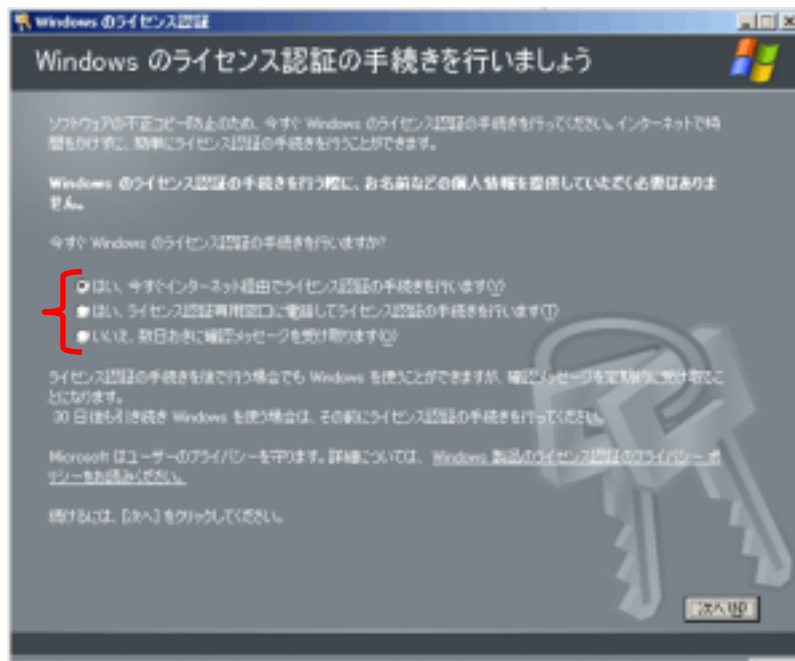


- ・フォーマットが正常に終了したら完了



- ・表示が「正常」に変わったら、構築完了です。「コンピュータの管理」ウィンドウを閉じて下さい。

- ・最後に Windows のライセンス認証の手続きを行います。
インターネット経由で手続きを行う場合はインターネットに接続の可能な LAN ケーブルを本体に接続してください。
- ・「スタート」 - 「すべてのプログラム」 - 「Windows のライセンス認証」を選択します。
- ・ライセンス認証画面で、手続き方法を選択して「次へ」をクリックします。

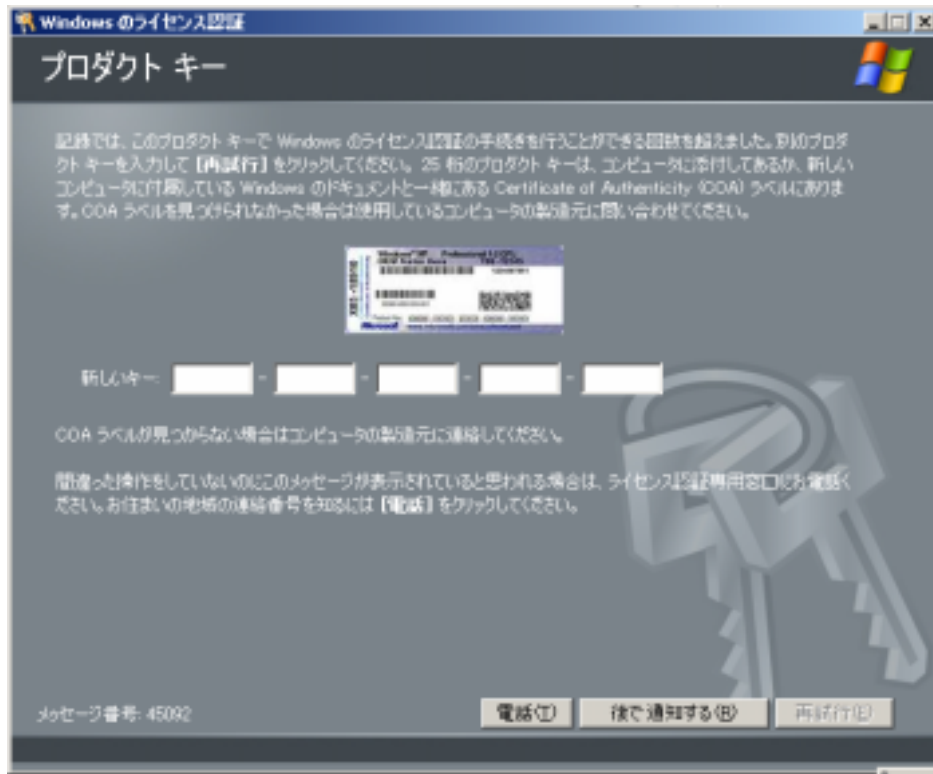


- ・表示される説明に従って進めてください。

「インターネット経由でライセンスの認証を行います」を選択された場合、以下の画面が表示されたら完了です。



「インターネット経由でライセンスの認証を行います」を選択された場合で以下のようなメッセージが表示された場合は認証が完了しておりません。メッセージの説明に従ってお電話等で手続きを行ってください。



ライセンス認証が完了しましたらシステムの復旧がすべて終了です。ソフトウェアマニュアルに従ってご使用下さい。

以 上